

1979年 1月 30日

理事会の皆様へ

同封の書状は長い間私達の僧伽に付きまとう深刻な問題について、真実憂慮する者として貴方に書き送る次第です。私達の心情は、私達の師栄道老師に対する個人的な遺恨ではなく、彼の品行、態度が僧伽のため、禅スタデイ ソサイエティのため、更に禅修行の伝統と誇りのため深刻な問題をもたらしていると思うからです。

栄道老師は疑う余地無く、破廉恥にも師としての地位を利用して、弟子達の信頼に背き、僧伽内の女性達を誘惑してセックスの乱用を犯し続けて来ました。栄道老師は精神的に不安定な、又感情的にも傷つきやすい女性達が、精神の安寧とその指導を求めて尋ねて来ると、承知の上でこれに乗じてつけ込み、利用して来ました。これを数々目撃して来た私達の憤りは頂点に達しました。是等の嘆かわしい行為と、僧伽に対する憂慮について問われると、栄道老師は彼の関わり合いを拒否し、師を疑ってはならないと主張する立場を取り続けて来ました。

私達の師は最早、私達の間では信頼と真実性を失い、彼の汚名は私達の僧伽内だけでなく、他の禅センターの間でも有名で、やがては禅仏教の名をも傷つけることになると思います。受戒を受けて僧となった人びとや、長い間修行を続けてきた弟子達が、栄道老師の自己中心癖、傲慢に絶望して、僧伽を見限って去って行く姿を見て私達は皆、悲しみ傷つき、恥ずかしい思いをしております。多くの有望な女弟子達は、老師の公然の誘惑に失望し、修行の継続に疑問を抱いているのも事実です。是等すべて現在も引き続き行われている事なのですから、如何にして … 風評 … を消す事が出来るでしょうか？

最後に私達の僧伽と禅スタデイ ソサイエティの好ましい和合のため、私達の希望を反復したいと思います。世評は今宗教的カルト、洗脳などに対して非常に敏感になっている事を思えば、もはやこれは単なる倫理的問題では済まなくなり、法的問題へと進展して行くのではないかと思います。

今は貴方が知的で思慮深い人間である事を期待して、この手紙を理事会のみに宛てて送ります。私達はこのような込み入った不快な仕事を貴方に依頼する事を申し訳なく思うのですが、これは私達の長い間の深い悲しみの根源である事を思い、この問題に正直に対決しなければならないと思うのです。

貴方の仏道の友より